

株式会社ヤマダ電機

所在地：高崎市栄町1番1号
労働者数：11,460名
事業内容：家電製品、および関連商品・サービスの販売
代表者：代表取締役 山田 昇



働きがいを実感できる職場づくり

経営においてもっとも重要なのは「人」と考えています。そのため、社員が働きがいを実感できる職場や仕組みについて、常に改善を図っております。

日常生活にかかせない家電製品の販売からスマートハウスまで、さまざまなソリューションサービスを提供する弊社には、女性社員の活躍が期待される職場や場面が数多くあります。

少子高齢化、人口減、ネット社会という大きな社会ニーズの変化の中、女性社員にその能力を十分に発揮してもらう必要性がますます高まっております。

男女それぞれが活躍する企業として、CSR経営を推進し、社会価値を高め、社会と共に発展を目指してまいります。

山田 代表取締役



女性社員の活躍推進

家電製品の販売員といえば男性社員をイメージする方が多いかもしれませんが、多くの女性社員が第一線で活躍しています。

出産育児支援制度を拡充し、女性社員のキャリアアップを目的とした研修実施などに取り組んだことで、育児休業や短時間勤務制度を利用して仕事を継続する女性、管理職に就く女性社員が増えています。

職場の様子



ヤマダ電機は、働き方の見直しを進めています。

ワークライフバランス実現への取組

- ・社員にお正月を家族と共に過ごしてもらうため、ヤマダ電機では元旦を休業日としています。
- ・3または4連休を半期に1度ずつ全社員が取得する制度を運用。期初に取得計画を立て、社員それぞれがライフスタイルに合わせて休暇を活用しています。

時間外労働の削減

- ・本社にて毎週全社員分の集計を行い、過度な時間外労働が発生しないよう所属長もしくは本人への指導を行っています。
- ・時間外労働の実績は1人あたり年平均18.5時間（平成25年度）となっています。

ヤマダ電機の概要を紹介します。

- ・「**創造と挑戦**」「**感謝と信頼**」を経営理念に掲げ、常にイノベーションを発揮し続けてきました。家電製品の販売のみならず、お客様の課題を総合的に支援していくソリューションビジネスに取り組んでおり、その一環としてヤマダ電機グループならではの発想によるスマートハウス事業、少子高齢化や人口減、ネット社会という大きな社会ニーズの変化に対するオムニチャネル展開等に取り組んでいます。今後も一步先を見据えた経営を推進し、新たなステージに向け革新性のある挑戦を積極的に続けます。
- ・ヤマダ電機は**CSR経営**を通じ、社会価値を高め、社会とともに発展する企業を目指します。

増える「イクメン」

男性社員の育児休業取得も、制度が周知されるにつれ徐々に増えています。

育児休業取得者

(男性の育児休業取得者のコメント)

会社の理解と協力をいただき、昨年、夫婦共に8ヶ月の育児休業を頂きました。初めての育児になる妻の心労を慮って育児休業の取得を決意いたしました。乳幼児との生活は楽しくも激しいもので、あっという間の8ヶ月間でした。

また、会社のサポートにより給付金の取得もスムーズに行え、生活面での不安等もなく家族と一緒に過ごす事ができ、何ものにも変えがたい子供との思い出をつくることができました。



くるみんマークの活用

ワークライフバランス実現への取り組みを社内外に伝えるため、自社ホームページやCSRレポートなどにくるみんマークを掲載しています。

従業員満足度が高まり、社員一人ひとりの力が存分に発揮される職場環境の実現に取り組むことで、企業の持続的成長を図ります。



育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…子が3歳に達するまで取得可能。男性が10名、女性が501名取得。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が小学校卒業前まで利用可能。300名が利用。
- ・**育児のための所定外労働の免除制度**…子が小学校卒業前まで利用可能。227名が利用。
- ・**子の看護休暇**…子が小学校に入学するまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は年10日間取得可能。33名が利用。
- ・**介護休業**…要介護状態の家族介護のため、通算184日間利用可能。14名が利用。
- ・**介護短時間勤務制度**…要介護状態の家族介護のため、通算184日間利用可能。

※ 取得率等のデータは、平成23年4月～平成26年3月までの実績